



2021年11月11日

各 位

会社名：大日精化工業株式会社
代表者名：代表取締役社長 高橋 弘二
(コード番号 4116 東証第1部)
問合せ先：執行役員 最高財務責任者 有江 朋之
TEL 03-3662-7128

2022年3月期第2四半期連結累計期間業績予想と実績値の差異及び連結業績予想の修正 並びに剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

2021年5月14日に公表いたしました2022年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と本日発表の実績値との差異及び2022年3月期連結業績予想の修正について、下記のとおりお知らせいたします。

また、2021年11月11日開催の取締役会において、2021年9月30日を基準日とする剰余金の配当を行うこと及び2022年3月期の期末配当予想を修正することを決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想と実績値の差異及び連結業績予想の修正について

(1) 2022年3月期第2四半期連結累計期間業績予想と実績値の差異（2021年4月1日～2021年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想（A）	百万円 59,000	百万円 2,700	百万円 3,200	百万円 2,300	円銭 124.51
実績値（B）	60,258	4,609	5,019	3,412	184.67
増減額（B-A）	1,258	1,909	1,819	1,112	-
増減率（%）	2.1	70.7	56.8	48.4	-
（参考）前第2四半期連結実績 （2021年3月期第2四半期）	62,836	901	1,308	2,161	116.45

(2) 差異の理由

売上高につきましては、コロナ禍で落ち込んだ当社グループの主要販売先である車両業界向け及び情報・電子業界向けが想定より回復したことにより、前回公表数値を上回りました。営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、主に売上数量の回復により前回公表数値を上回る結果となりました。

(3) 2022年3月期連結業績予想の修正(2021年4月1日~2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 120,000	百万円 5,400	百万円 6,000	百万円 4,400	円銭 238.18
今回修正予想 (B)	121,000	8,000	8,600	6,000	324.68
増減額 (B-A)	1,000	2,600	2,600	1,600	-
増減率 (%)	0.8	48.1	43.3	36.4	-
(参考) 前期連結実績 (2021年3月期)	138,491	4,920	5,613	6,343	341.95

(4) 修正の理由

第3四半期以降の売上につきましては、半導体不足などにより車両業界向けの一部に不透明感があるものの、第2四半期に引き続き、コロナ禍で落ち込んだ車両業界及び情報・電子業界向けの売上の回復が続く見込みです。

営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、原材料価格高騰・調達難の影響、事業活動再開による経費支出増加が見込まれますが、売上数量の回復により増益となる見込みです。

2. 剰余金の配当 (中間配当) 及び期末配当予想の修正について

(1) 剰余金の配当 (中間配当) の内容

	決定額	直近の配当予想 (2021年5月14日公表)	前期実績 (2021年3月期中間配当)
基準日	2021年9月30日	同左	2020年9月30日
1株当たり配当金	40円00銭	35円00銭	15円00銭
配当金総額	739百万円		278百万円
効力発生日	2021年12月10日		2020年12月4日
配当原資	利益剰余金		利益剰余金

(2) 期末配当予想修正の内容

	年間配当金 (円)		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回発表予想 (2021年5月14日公表)	円 銭 35円00銭	円 銭 35円00銭	円 銭 70円00銭
今回修正予想		40円00銭	80円00銭
当期実績	40円00銭		
(参考) 前期実績 (2021年3月期)	15円00銭	30円00銭	45円00銭

(3) 修正の理由

当社は、将来の事業展開に備え経営基盤の強化並びに内部留保の充実等を総合的に勘案しつつ、株主各位への利益還元を重視した配当政策を継続的に実施することを基本方針としております。

上記の基本方針及び前述の業績動向を総合的に勘案した結果、中間配当につきましては、前回発表予想から5円増額し、40円00銭とさせていただくとともに、期末配当予想につきましても、前回発表予想から5円増額し、40円00銭へと修正させていただくことといたします。これにより年間配当金は、前回発表予想に比べ10円増額の80円00銭となる予定であります。

(注) 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる場合がございます。

以 上